

令和3年度 生活環境部 施策展開方針 報告書

1. まちづくり政策(生活環境部関係分)

政策 01  自然・ 環境	<b>政策展開の方向性</b>							
	江別市の豊かな自然や地域環境を次代に引き継いでいけるよう、地球温暖化対策、地域環境の保全、水と緑の保全、ごみの減量化・資源化などへの課題に対応するとともに、市民・事業者・行政との協働により環境保全に取り組み、安全で快適な生活環境づくりを進めます。							
	<b>令和3年度 of 取組状況報告</b>							
	01-01 人と自然の共生							
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理計画後期推進計画に基づき、地球環境・水と緑・安全な地域環境の保全や再生可能エネルギーの利用促進に向けて、引き続き各施策に取り組みました。</li> <li>・令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、環境学習に関する事業の中止や延期を余儀なくされましたが、市民一人ひとりの環境保全への意識を醸成するため、実施形態の変更や感染予防対策を行い、コロナ禍においても可能な限り学習機会の提供に努めました。</li> <li>・花のある街並みづくり事業の活動団体数は、新型コロナウイルス感染症の影響を若干受けていますが、活動団体数は各自治会等の活動状況によって変動するものであり、「活動協力金」の助成を通じた花のある街並みづくり事業の継続的な取り組みは、えべつ未来づくりビジョンにおける基本理念の「環境にやさしいまち」の創造に寄与しています。</li> </ul>							
	01-02 循環型社会の形成							
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度から令和12年度までの10年間を計画期間とする「江別市一般廃棄物処理基本計画(令和3年3月策定)」に基づき、発生抑制(リデュース)と再利用(リユース)の2Rを最優先として取り組みました。</li> <li>・食品ロス削減については、自治会回覧やポスター掲示のほか、ツイッター等のSNSによる啓発に取り組みましたが、コロナ禍により対面での講習会は開催できませんでした。</li> <li>・プラスチックごみによる海洋汚染問題の対策として、不法投棄や不適正排出物の迅速な回収などのほか、マイカップ運動や使い捨てプラスチック容器削減に向け、SNS等により啓発に取り組みました。</li> <li>・大型ごみ排出者の了解を得て、スキー・スノーボード、学習机をピックアップ・保管後、市民に無料で提供する大型ごみリユース事業について、民間事業者とリユースに関する協定を締結し、当該事業者のウェブサイトを活用して取り組みました。</li> <li>・ボランティア等による地域の清掃活動で使用する公共ごみ袋について、現在の40リットル袋のほかに、ごみステーションの清掃時の使い勝手の点から要望のあった少量袋(10リットル袋)を作成・配布し、地域環境の保全を進めました。</li> <li>・令和2年10月から「ごみ出し困難者への戸別収集」と「ごみ収集日の見直し」を実施しており、安心して暮らせる環境の構築を図りました。</li> </ul>							
	<b>政策の成果指標</b>		<b>単位</b>	(初期値)	R元年度	R2年度	R3年度	<b>目標</b>
	環境に配慮した生活をしている市民割合		%	68.9	70.5	70.7	74.0	↗
	緑に親しめる空間があると思う市民割合		%	88.7	92.2	91.7	90.6	↗
市民1人1日当たりのごみ排出量		g/日	960	892	885	872	↘	
生活環境部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況								
「環境教育等推進事業」 環境関連イベント等への参加者数		人	780	1,153	258	303	↗	
「花のある街並みづくり事業」 活動団体数		団体	104	100	96	98	↗	
「古着・古布及び小型家電資源化事業」 古布・衣類及び使用済小型家電回収量		t	36.6	53.0	58.0	39.0	↗	

政策 04  安全・安心	<b>政策展開の方向性</b>							
	交通安全や防犯活動の推進、生活衛生環境や冬期生活環境の充実などを通じて安全で快適な社会環境を築いていくとともに、地域防災力の向上や消防・救急体制の充実を図ることにより、災害に強く、だれもが末永く安心して暮らせるまちづくりを進めます。							
	<b>令和3年度の実施状況報告</b>							
	04-01 安全な暮らしの確保							
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学時の児童の安全を確保するため、交通安全指導員を配置して、交通安全指導を行うとともに、交通安全運動期間中のイベント等で啓発を実施しました。また、交通安全指導員による各年代層に応じた交通安全教室を開催し、交通安全意識の向上を図りました。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部のイベントや教室が中止となりました。</li> <li>・これまで同様、市HPや広報誌などを活用し、相談事業の周知を図りました。</li> <li>・平成27年度から運用を開始した合同墓などにより、葬送に対する市民の多様なニーズに対応しました。また、墓所の適正管理、循環利用を図り、墓所の申込者に対し、十分な募集区画を設定しました。</li> </ul>							
	政策の成果指標		単位	(初期値)	R元年度	R2年度	R3年度	目標
	安全で衛生的な生活環境が整っていると思う市民割合		%	78.2	85.1	83.3	81.0	↗
	災害対策が充実し安心と思う市民割合		%	52.1	54.2	58.9	52.1	↗
	消防・救急活動に満足している市民割合		%	89.5	93.3	93.9	93.0	↗
	生活環境部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況							
「交通安全教育・啓発事業」 交通安全指導員の配置状況(設置を希望する小学校への配置)		人	16	18	18	19	↗	
「市民相談事業」 市の市民相談所を知っている市民割合		%	62.8	49.9	46.6	53.3	↗	
「やすらぎ苑整備事業」 申込者に対する募集区画数の割合		%	95.2	130.0	151.2	132.6	↗	

政策 08  協働	<b>政策展開の方向性</b>							
	江別市自治基本条例の理念に基づき、市政への市民参加を進めるとともに、市民、自治会、市民活動団体、企業、大学などの各種団体と連携して魅力ある協働のまちづくりを推進します。また、グローバルな視点に立ち、人材・団体の育成を進め、在住外国人とも協力し合うなど、国際交流を推進します。							
	<b>令和3年度の実施状況報告</b>							
	08-01 協働のまちづくりの推進							
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治基本条例の理念や内容の認知度を高めるため、大学生との協働により作成した、条例のポイントを分かりやすく解説したリーフレットを配布しました。</li> <li>・将来のまちづくりを担う世代に「協働」の意識啓発を図るため、小学4年生と中学2年生を対象に、感染症対策を十分に講じたうえで早朝ミニ講座を実施し、「協働」についてのパンフレットやクリアファイルを配布しました。</li> <li>・市民活動の活性化を図るため、セミナーやワークショップを感染症対策を十分に講じたうえで開催したほか、市民活動団体版出前講座事業を実施しました。</li> <li>・自治会役員の高齢化に伴う担い手不足解消や、自治会で活躍する女性の支援などを目的としたセミナー等を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止としました。</li> <li>・自治会活動における課題を把握し、今後の施策を検討するため自治会アンケート調査を実施しました。</li> </ul>							
	政策の成果指標		単位	(初期値)	R元年度	R2年度	R3年度	目標
	協働によるまちづくりが進んでいると思う市民割合		%	23.1	34.1	31.8	33.0	↗
	お互いの文化や価値観を理解し、外国人と交流できる市民割合		%	42.7	50.6	56.4	55.1	↗
	生活環境部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況							

「自治基本条例啓発事業」 自治基本条例の認知度	%	38.7	37.5	34.7	38.2	↗
「市民協働推進事業」 市民協働推進事業で実施した協働事業数	件	10	11	10	10	↗
「自治会活動等支援事業」 セミナー参加者数	人	—	57	0	0	↗

政策  
09

## 政策展開の方向性

計  
画

効率的な行政サービスの執行と健全な財政の確保により、市の基礎自治体としての機能を充実させ、自主・自立の市政運営を推進します。また、市政の透明性を確保するとともに、市民と市の情報共有を図るため、広報広聴の充実を図り、情報公開や個人情報保護制度を適正に運用します。

さらに、男女共同参画による市政運営を推進するために、男女平等意識の醸成に努めます。

推  
進

### 令和3年度の取組状況報告

#### 09-01 自主・自立の市政運営の推進

・市民サービスの向上のため、平成26年度から各種証明書の「コンビニ交付」を実施しており、令和3年度も利用促進に向け、引き続き広報えべつやホームページ等で広報活動を行いました。令和3年度は、マイナンバーカードの取得が進んだことやコロナ禍における窓口の利用控えもあり、コンビニ交付件数が大幅に増加しました。

#### 09-03 男女共同参画による市政運営の推進

・男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり啓発の推進のため、江別市男女共同参画推進連絡協議会との協働により作成した啓発リーフレット及びポケットティッシュを配布しました。

・「江別市男女共同参画基本計画」の基本方針の一つであり、重点項目として位置づけている「男女平等・共同参画社会の実現に向けた意識づくり啓発の推進」の一環として、性の多様性への理解促進と意識づくりをテーマとした講演会を開催しました。

・性の多様性への理解促進を目的として「江別市パートナーシップ宣誓制度」を導入しました。

政策の成果指標	単位	(初期値)	R元年度	R2年度	R3年度	目標
市政運営に満足している市民割合	%	64.7	73.2	67.5	69.1	↗
行政情報の共有化を感じる市民割合	%	72.7	79.7	74.7	78.3	↗
男女が平等だと思う市民割合	%	48.7	53.1	50.3	50.4	↗
生活環境部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況						
「住民基本台帳ネットワークシステム事業」 証明書のコンビニ交付件数(単年度交付件数)	件	—	3,591	5,034	7,671	↗
「江別市男女共同参画基本計画」 男女共同参画の考えが必要だと思う市民割合	%	55.6	79.0	81.4	80.0	↗

## 2. えべつ未来戦略(生活環境部関係分)

戦 略	■戦略プロジェクト 「関連事業」(担当課)
戦 略 1 にぎわいと活力を創出するまちづくり	
戦 略 2 安心して子どもを産み育てることができる まちづくり	
戦 略 3 子どもから大人までいきいきと 健康に暮らせるまちづくり	

## 3. 生活環境部の資源

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
歳出決算額 (千円)	一般会計 (A)	1,983,785	1,975,302	2,009,595	2,116,834	2,139,708
	特別会計 (B)	0	0	0	0	0
	合計 (A+B)	1,983,785	1,975,302	2,009,595	2,116,834	2,139,708
正職員人件費 (千円)	人工 (a)	66.00	68.00	66.00	68.00	67.00
	平均単価 (b)	7,618	7,627	7,687	7,629	7,607
	人件費 (a×b)	502,788	518,636	507,342	518,772	509,669
総 額		2,486,573	2,493,938	2,516,937	2,635,606	2,649,377